

				
Name	大武 佑	E-mail	otake@ge.ibaraki-ct.ac.jp	
Status	講師			
Affiliations 所属学会・協会	日本メルヴィル学会、日本アメリカ文学会、アメリカ学会			
Keywords				
Technical Support Skills 技術相談・提供可能技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 			
Message to the Industry 産業界へのメッセージ				

Research Contents

19世紀アメリカ文学(小説)の中でも主にハーマン・メルヴィルの作品を研究対象としています。しかし、興味の対象は19世紀アメリカ小説だけでなく、現代の小説や映画も含まれます。21世紀の日本に生きる私が(19世紀)アメリカ文学を読むとき、作品に描かれていることとの共通点やつながりを読み取れることもあれば、その時代のアメリカ独特のものであると気づくこともあります。そのような共通項や差異を、私個人の発見にとどめず、人間共通の問題として理解したいと思っています。アメリカ文学における「侵入」の意味を探求するため、「境界」そして「言語」という概念を土台にして研究活動を行っています。

【主な研究業績】

・論文

『アメリカン・ヴァイオレンス:見える暴力・見えない暴力』(担当:共著、範囲:第1部:暴力の政治的パフォーマンス「ハーマン・メルヴィル『ベニト・セレノ』におけるリーダーの脆弱性:バボが振りかざす日本目の短刀」)彩流社 2013年5月

「魔法群島」が見張る太平洋:逆転する地獄と楽園の遺物(『アメリカ研究』(49)157-176 2015年3月)

・口頭発表

語り手とバトルビーの相互侵犯:”Bartleby, the Scribner”における life 日本アメリカ文学会東京支部 2014年1月

Expurgated Labor in Typee: “the unvarnished truth” in “culpable omission” 第11回国際メルヴィル学会 2017年6月

Available Facilities and Equipment
